

アウクスブルク滞在記

江村 栞

1 はじめに

今回、尼崎市青年使節団として約一週間、ドイツのアウクスブルク市に滞在しました。私にとって、今回が初めてのアウクスブルク市訪問であり、もちろんのことですが、姉妹都市交流に参加するのも初めての経験でした。そんな初めてだらけの訪問で少し緊張もしましたが、普通の個人的な旅行とは違い、青年使節団として、そして姉妹都市交流の一環として訪れたことで、貴重な体験の数々に加え、たくさんのアウクスブルク市の方々の温かさを感じることができました。

2 日中の研修

日中、私たち使節団は様々な名所や施設を訪問しました。中でも、個人的に建築物と教育施設が印象に残りました。建築物については、ノイシュヴァンシュタイン城・シェッツラー宮殿・ヴィース巡礼教会などに行きました。どの建物も遠くから全体をみると荘厳な雰囲気を受けますが、近くで見ると彫刻や装飾が細やかで、受ける印象が見る角度から異なることがとても興味深かったです。

教育機関に関しては、子ども園・小学校・大学を訪問しました。全体として感じたことは、どの機関も開放的な空間づくりがなされていて、のびのびとした雰囲気を感じました。訪問先の小学校には、図書室の隣に本を自由に読める屋外テラスがあったり、吹き抜けの空間があったりと、子どもたち

が過ごしやすいような工夫がたくさんある点が勉強になりました。



ヴィース巡礼教会

3 ホームステイ

ホストファミリーの方々には、滞在中とても優しく心配りをしていた頂きました。休日には、ミュンヘンとランツベルク・アム・レヒに連れていってもらいました。ミュンヘンでは、オリンピック記念公園や仕掛け時計などの主要な観光名所をバスツアーで巡りました。ランツベルク・アム・レヒはレヒ河畔に位置し、約 850 年もの歴史を持つ街であります。シュマルツ塔のあるマルクト広場が有名な場所で、実際に訪れましたが、建物一つ一つがカラフルで華やかな印象を受けました。また訪れた時、丁度芸術週間がそこで開催されており、町中に芸術家の個展や路上演奏、幼稚園・小学校の芸術祭が開かれていました。

またホストファミリーには、私と同年の女の子がおり、滞在中たくさん話をしました。同年代ということもあり、お互いの

大学生活のことや、将来のことや好きなことなどを共有しました。ドイツのアウクスブルクの同世代と、こうして話を共有することができたことはとても尊い経験であったと思います。



マルクト広場



ミュンヘン/仕掛け時計

4 文化交流

今回の滞在で、たくさんの異文化体験をする機会がありました。まず初日には、市庁舎にて民族衣装の試着をさせていただきました。立派な衣装で、その歴史の重みを肌身で感じました。とある日には、ホストファミリーの方々がケーキパーティーを開いてくださり、アウクスブルク市の伝統的なケーキと一緒に作って食べました。

また文化交流の一つとして、ドイツ語もたくさん学びました。私自身、ドイツ語の知識は全くない状態で今回訪れたのですが、ホストファミリーや現地の方々と話すにつ

れて、「これはドイツ語で何と言うんだろう？」「今の気持ちをドイツ語で言ってみよう！」という気持ちが芽生え、事あるごとにホストファミリーに聞いて教えてもらいました。些細なことではありますが、言語も一つの文化であり、それをホストファミリーとの会話のなかで学べて楽しかったですし、何よりホストファミリーとの会話がはずむきっかけになったと思います。



アウクスブルク伝統のケーキ

5 おわりに

今回の訪問を通じて、アウクスブルク市の魅力をたくさん学びました。そして、同時に、次は自分がアウクスブルク市の方々をおもてなししたいという強い気持ちが芽生えました。それは、アウクスブルク市の方々が私たちを温かく歓迎し、おもてなししてくださったからこそであります。実際に訪問し、直接交流しなければ、得られなかったものであり、私にとって今回の訪問での財産になったと感じています。これからもこの気持ちを絶やすことなく、交流を続けていきたいと思っています。

最後に、今回の交流事業の機会を提供してくださった方々、またサポートしてくださった全ての方々に感謝申し上げます。